

爪切り屋メディカルフットケアJF協会 協会通信

NO.8

2010年12月発行

編集・発行/爪切り屋メディカルフットケアJF協会 広報委員会
〒179-0085 東京都練馬区早宮 3-12-5 TEL03-3992-1824 FAX03-3992-3309



「マルヤ先生と宮川会

私とフットケア (連載)

爪切り屋メディカルフットケアJF協会 会長

宮川 晴妃

今日はヘルシンキ大学付属病院での2日目の実習日です。怖くて心が晴れません。8月だというのに朝から肌寒くセーターを着るほどです。休みたいなあ・・・と思いつつ足は病院に向いていました。

患者さんは前回と同じ方で、足の三分の一から趾先まで潰瘍が進行し壊疽になる手前で助かったと聞いています。

趾先は変色し皮膚はぐずぐずとくずれていました。医師は簡単に包帯をはずし、傷の部位をゾンデとメスを使い剥がしていきます。鮮血が出てくると洗浄し、薬を塗布し包帯を巻いて終了でした。

今日は包帯を外した時によく傷口を観察することから始まります。前回より傷が小さく、乾いている状態でした。医師のマルヤ先生から「晴妃やってみなさいと」と声がかかり、手袋をつけゾンデを握って患者さんの前に立ちました。患者さんに「おはようございます。私がやります。痛かったらおっしゃってください」と声をかけ、胸はドキドキ頭の中は真っ白になり傷口にゾンデをあてた後はどのように施術を行ったかはわかりません。マルヤ先生に声をかけられハッと我に返りました。

マルヤ先生の評価は「まあまあね、傷口を拡げない・丁寧に潰瘍の角の部分までにきれいにすること・出来てきた新しい皮膚を大事に扱うのが大切なことです。」出血し傷が赤く痛々しかった。先生は素早く洗浄し薬を塗布し、足をいたわるように包帯を巻いていった。その様子をみながら、治療する行為だけではないマルヤ先生の人に対する優しさを自分まで頂いた一日だった。

・・・宮川晴妃会長から会員の皆様へのメッセージとして連載していきます。
お楽しみに・・・

平成22年度 第15回研修会 講演と会員報告・・・2010. 8. 28

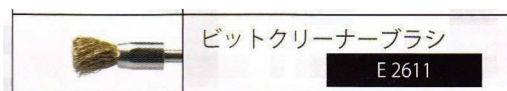
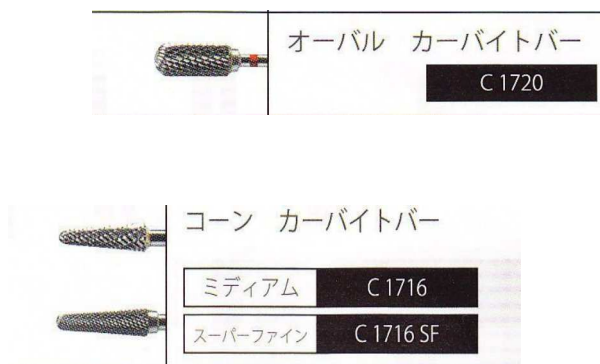
2010年8月28日に中野サンプラザ 第11研修会場において、第15回研修会・会員報告がおこなわれました。参加者は46名でした。

○講演 「宮川式フットケアに使用するグラインダー・ビットについて」

講師 浦和工業(株) 木村 隆 氏

グラインダーやビットを実際に手にして分かりやすく、非常に興味深い内容でした。内容は、①胼胝・うおのめ・肥厚爪・等ケアする場合のビット選び、回転数 ②使用する上で起こりやすいトラブルについて ③ビット・グラインダーのメンテナンスについての内容でした。ここでは、③についてお知らせします。

- カーバイドバーは、大半が右用に作られているので、左回転で使用すると切れ味が落ちてしまいます。使用後は、ビットクリーナーブラシ（E 2611 S T）をビットの溝の線に合わせるようにして、ダストを落とすと切れ味がおちにくい。ダストを落とした後はアルコールなどで消毒します。



- ダイヤモンドバーなどは、クリーナーブラシなどを当てながら作業すると切れ味が長持ちします。ダイヤモンド砥粒がメッキで付着されているので、使用後は超音波洗浄器にアルカリ洗剤を適度な濃度に薄めて洗浄すると1分位で汚れが浮いてくるので軽くブラシなどでこすると簡単に洗浄ができます。洗浄後はアルコールなどで消毒して下さい。なお錆びることもありますので消毒後は軽く油分を足してあげると良いでしょう。なお超音波洗浄機はインターネットなどで購入が可能です。
- キャップサンダーやビューティフットなどで、砥粒の種類（C砥粒やD砥粒）は皮膚を削るのに適していますが、付着した汚れを落とすのが難しい。使い捨てにすると洗浄消毒の手間が省けます。繰り返し使用には若干不向きです。

また、ドレッサー（写真）やシリコンポイント（写真）など、新製品の使い方についての説明もありました。不明な点につきましては早宮教室にお問い合わせください。

「ドレッサー」



「シリコンポイント」



《ご報告》 木村氏におかれましては講師料をご辞退され、50,000 円を御寄付いただきました。皆さんにご報告申し上げます。

○会員報告 「卒業して・・・今思う事・・・」

フットケアサロン ピエソワン

フットケアワーカー・看護師・ケアマネージャー
高橋 聖子

2008 年 2 月に早宮教室で爪切り屋メディカルフットケア J F 協会 1 級課程を修了し、施設の看護師・ケアマネージャー業務をしていましたが、フットケアをする時間を確保することが難しい中、フットケアを必要とする利用者に対して継続ができないジレンマもあり、退職し、現在は J F 協会認定の訪問専門のフットケアサロン pied soin（ピエ ソワン）として活動を行っています。

(1)施設訪問：週 1～2 回 場所は理美容室で 1 日 3 から 4 人の入所者を対象として、
これまで 99 人が利用。

記録用紙は①フットケア実施指示票（医師の指示とサインがある）

②フットケア初期計画書

③毎回の記録（足の形にケア前は赤・ケア後は黒で記入）

④経過写真用紙

(2) 在宅の訪問は：施設退所後の希望者、短期入所者の希望者などを対象としている。

(3) 介護予防講座：横浜市の介護予防講座など地域の高齢者を対象としている。

また、これから取り組みたいこととして、子どもや学生、スポーツをしている人の足・疲れている大人の癒しの空間・高齢者などのひどい爪を改善するだけでなく一般の比較的きれいな爪を改善するとともに美しく仕上げる技術なども会得したいと思っている。

フットケアにかける情熱にあふれた意欲的な内容でした。特に「縁あって爪切りという壮大なテーマを選んでしまったみなさん、決してめげませんので、これからも、よろしくお願いします。」という最後の言葉には大きな拍手が送られました。

氏名 ○○ ○○ ○○

写真 実施前 左	写真 実施前 右
写真 実施後 左	写真 実施後 右
写真 実施前 左	写真 実施前 右
写真 実施後 左	写真 実施後 右

0000/0/00

フットケア 初期計画書	
氏名	性別
年齢	職業
住所	電話番号
フットケアの目的	

氏名	性別	年齢	職業	住所	電話番号
フットケアの目的					
R	L				

フットケア実施指示票

フットケア実施指示票	
氏名	性別
年齢	職業
住所	電話番号
フットケアの目的	
医師のサイン	

1 フットケア実施指示票

2 フットケア初期計画書

3 毎回の記録

4 経過写真用紙

会員限定講習 「フットケアの理論」
「異常爪のケア」

8月29日講師
9月25日講師

宮川会長
大須賀副会長



参加者：フットケアの理論 9名、 異常爪のケア 5名

「フットケアの理論」では、なぜフットケアワーカーなのか、なぜフットケアが必要なのか。常に“なぜ”を忘れないこと。立位や歩行は人間の尊厳を護ること。これらのフットケアの根幹にかかわる理論と、実践する技術が根拠を持って行うことはフットケアワーカーとして持つべきものである。後半の技術実習では、ゾンデの使用法・爪切り・やすりがけ等の技術について根拠に基づいて行うことをそれぞれ具体的に学びました。

「異常爪のケア」では、具体的な症例をとりあげ、一つずつ丁寧

にお話を聞くことができました。

残念ながら11月27日「フットケアの解剖生理」は参加者1名のため中止になりました。

あらためて、ご案内の仕方を考えなければいけないと反省しております。茂木先生には時間を空けていただき申し訳なく思っています。

今年度最後の会員限定講習は2月27日(土)「笠原式テーピング」講師 安由紀子氏です。フットケアの技術の基本に変わりはありませんが、自分自身の実践に結び付けて、新しい発見があります。会員限定講習に参加しましょう。

参加希望の方は事務局までご連絡ください。

連絡先「爪切り屋」メディカルフットケア JF 協会
事務局 高橋すみえ

〒179-0085 東京都練馬区早宮 3-12-5
TEL 03-3992-1824 FAX 03-3992-3309
E-mail: j.f.-haruki@ray.ocn.ne.jp

第20回理事会報告

・・・2010. 8・28

8月28日（土）10時から12時まで、中野サンプラザ研修室11において、第20回理事会が開催されました。

1 日時 平成22年8月28日(土) 10:00～12:00

2 場所:中野サンプラザ 研修室11

3 参加者 宮川会長 安 橋本 大須賀 加藤 関根 大河原 折笠 宮垣 木村 米島

欠席者 本林（委任状あり）

4 決定事項

1) 定款・細則について会員に送る書類(たたきだい総務委員会制作)の検討内容を検討し修正を加える。総務委員会で再調整し会員に送付する。

2) スタンダード版について

・会長より 活用の仕方と内容の充実について今後も取り組みが必要

・木村氏より家庭用の爪切りを使った爪切りの技術についてプラスしたらどうか。

一同賛成

・写真等をレジュメ、資料に掲載する場合はその出所を明記する必要がある。

・スタンダード版から発展し、写真・図等も協会として会員が共有し、必要な時にいつでも使用できるようなシステムを作ったらいいのではないかという意見が出る

3) 第16回研修会について

すでにご案内を送付致しました内容に決定

研修委員会からのお知らせ

平成22年度第16回研修会についてお知らせします。参加申し込み締め切りは1月6日（木）

1月29日（土）～30日（日）ウィリング横浜

*29日

・多目的室にて午後1時～前回ご案内させていただきましたように、スタンダード版を基本とした講演の会員報告（発表予定者：大河原・武蔵、橋本）短時間でも発表のある方は、事務局にご連絡ください。

・特別講演（90分・質疑応答含む）「爪切りと身体機能の変化」講師 会長 宮川 晴妃

親睦会「和風 DINING きざみ」コラーゲン入り塩しゃぶしゃぶ宴会コース

*30日

・宿泊部屋にて（十分な広さがあります）グループ討議

前日の報告についてグループに分かれ、意見を出し合い最後に発表する。

・スタンダード版作成班の意見をもらう。

希望者は宿泊できる手配をしています。29日、30日の昼食は各自でお願い致します。

第20回理事会報告

・・・2010. 12・04

協会通信 No.9にてご報告させていただきます。



編集後記

今後とも会員の皆様のご意見を頂きながら、会員が情報を共有できるような広報誌にしたいと思います。

広報担当 関根・高橋